



輸血のおはなし-1

けつえきがた 血液型とは？

しきけつえきがた ABO式血液型

げんざい いりょう ひんけつかいぜん しゅじゅつ しゅっけつ たいおう こうはんい
現在の医療において貧血改善、手術による出血への対応など広範囲
ゆけつちりょう おこな けつえきがた ゆけつりょうほう たいじ
に輸血治療は行われています。この輸血療法において、とても大事な
ことが赤血球の「血液型」なのです。血液型の代表的な分類にABO式
せつけつきゅう けつえきがた けつえきがた たいひょうてき ぶんるい しき
およびRh式の分類があります。赤血球の膜に付いている抗原と呼ばれ
るタンパク質が血液型を決める物質です。

しきけつえきがた こうげん こうげん しゅるい こうげん つ
ABO式血液型では、A抗原とB抗原の2種類があります。A抗原が付
けつえき がた こうげん つ がた こうげん こうげんりょうほうつ
いる血液は「A型」。B抗原が付いていれば「B型」、A抗原とB抗原両方付
ければ「AB型」になり、どちらも付いと「O型」になるのです。



せつけつきゅう
赤血球



こうげん
A抗原



こうげん
B抗原



A



B



O



AB

(にほんじん わりあい)
【日本人の割合】

- A型 : 40%
- O型 : 30%
- B型 : 20%
- AB型 : 10%